



2011～2012 年度 9 月



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

浪江ロータリークラブ

The Rotary Club of NAMIE

浪江 RC は残念ながらしばらく休会が続いてお
りますが、ロータリー財団や米山奨学会への寄付
はいつでも受け付けていますのでどうぞよろし
くお願いいたします。

◆ 会長の時間 ◆

震災から半年が過ぎました。東北の各地で復興へ
の槌音が聞えてくる中、立ち止まったままの我が
地域にもどかしさを感じます。

どじょうの詩ですっかり有名になった相田みつ
をさんですが、もうひとつの詩をご紹介します。

「忍」 相田みつを
がまんをするんだよ がまんをするんだよ
くやしいだろうがね そこをがまんを
するんだよ
そうすれば 人のかなしみや くるしみが
よくわかってくるから

7 月 30 日に地区ロータリー財団セミナーが郡山
で開催され出席をしてまいりました。増強委員長
からは「元気なクラブは被災したクラブの分まで
頑張ろう。」との有難い言葉もいただきました。
ロータリークラブは「世界初の奉仕団体」であり、
ポリオ撲滅、水問題、識字率の向上など多くの活
動をしております。

世界に目を向けてみると、日々の慢性的な飢餓、
貧困、食糧不足などまだまだ解決していないこと
ばかりで、これらは「静かな津波」と呼ばれてお
り、今回の我々の大きな震災のように耳目を集め
ることなく進んでいます。

どうか皆さん、今の状況は大変厳しいかとは思
いますが、人の痛みを十分にわかった分、いつかそ
の恩返しをしようではありませんか。

◆被災地域クラブの近況◆

今回の地震で被災した各クラブの近況がロータ
リージャパンのホームページに掲載されてお
りましたのでいくつかご紹介いたします。



山田 RC (岩手県) 会長・阿部 幸栄

J R 陸中山田駅舎上に、山田 RC 寄贈の大時計が
ある。その時計は 3 時 25 分で止まったままであ
る。3 月 11 日のあの津波が襲来した、まさに
その時である。

山田町の中心部の 80%以上が『ガレキ』と化した。
クラブのすべてが無い。会員は辛うじて全員生き
ていた。ガバナー事務所と連絡が取れるようにな
り、全国のロータリークラブから支援の電話が入
るようになった。6 月 2 日は滝ノ沢 RC との花壇



作り、4日は成岡北RC贈呈のゴングで震災後初めての点鐘を行い、山田RC復興のスタートとなった。

あの時計は今、格好の被写体になっている。駅舎撤去時には、JR、行政、RCが協力し、「メモリアル」として保存することになった。この大震災を通じて、ロータリーのスピリットとパワーを実感させられたのは私だけであろうか。

あらためて、ご支援いただいた全国のロータリアンに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

石巻東RC (宮城県) 前年度幹事・牡渡 正剛

「牡渡さん、今日もご苦労さんだったね、いつもありがとう。来週もよろしくね」。

3月11日、例会と理事会が終わり、例会場の石巻グランドホテルを後にする際にかけてられたこの言葉が、私が聞いた菊地正孝会長の最後の言葉でした。それから1時間もしないうちに大地震が発生、そして大津波が菊地会長ご夫妻をのみ込みました。

石巻東RCは、会員41名中4名が死亡、家族や従業員も多数が犠牲となり、自宅、事業所の物的被害も甚大でした。しかし、そのようななかでも、会員はそれぞれの事業所を再開し、地域の復興に努めております。

日本全国のRCからこころあたたまる励ましとご支援をいただき、ロータリーの友情に深く感謝しています。

石巻の復興のために、会員一同力を合わせていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。「がんばっぺ、石巻！」



大船渡RC (岩手県) 会長・金昌治

わが大船渡RCも、大震災により壊滅的な打撃を受けた。事務所も流され、多くの事務機器、書類など、これまで50年以上培ってきた資料などもすべて失った。会員1名がいまだに行方不明。ほとんどの会員が自宅や事務所に甚大な被害を被った。街は3か月を経た今もガレキの山だ。自然とはなんと無慈悲なことをするものだと、つくづく思う。

わが大船渡RCは再起できるのであろうか。震災後1か月以上は正直、ロータリークラブのことは頭になくなっていった。頭の中には事業所の復旧のことで、その他のことは考えられなかったのだ。何とかしなければと思ったのは、各RCからの励ましと、支援物資が届けられるのを見てからだった。街がやられ、集まる場所もない。

それでも会員の事業所を借りて役員会を開いたのは4月末であり、その場で5月からの例会開催を決めたのだった。

これからは、会員の事業所の立ち直りが、わがRCの再起のためにも最も大事なことと思う。1日も早い復興を願うのみである。

それにつけても、広く各地のRCからの物心両面からの温かい支援には、ただただ感謝の心でいっぱいです。ありがとうございます。



さあ、今週の例会も、唯一生き残った開会閉会点鐘の鐘を元気よく打ち鳴らそう。

名取 R C (宮城県) 直前会長・長澤 信幸

あの日、震度 6 強の激しい揺れが名取を襲いました。閉上、北釜、仙台空港地区に 9 m の津波が押し寄せ、沿岸地域の事業所で仕事をしてきた多くの会員は貞山堀を越えて襲いかかる津波からどうにか逃れ、九死に一生を得ました。

会員事業所は 7 棟が流され鉄骨だけとなり、自宅は 3 棟が土台だけとなりました。その他の会員の事業所・自宅も半壊または一部損壊の被害を受け、クラブ例会場・事務所も倒壊寸前の状態となり、長年クラブの歴史を共に築いてきた大切な場所を失うこととなりました。

被災直後、会員の安否確認は祈りと共にの作業になり、会員そして家族全員の無事が確認できた時の安堵感は言葉に表すことはできません。

震災直後より、地区内外から多大なご支援をいただいたことに心から感謝申し上げます。今、名取 R C は、わが郷土復興に奉仕・貢献できるよう 46 名の会員全員で力を合わせ、明日への一歩を進んでおります。どうぞ、これからもロータリアンの皆さまのお力添えをよろしく願いいたします。

石巻南 R C (宮城県) 会長・鈴木 聡

1000 年に一度の未曾有の東日本震災で、被害にあった会員が大多数で、自宅や会社が全壊して会社運営ができず、社員全員を解雇して社長自身が無収入状態で、孤軍奮闘している現状です。

廃業やむなしの会社も多い中、石巻南 R C の会員は会社運営を最優先で、クラブ存亡の危機感もち、退会者をくいとめるべく、叡智を集め協力しあい、ロータリー精神の原点を見つめ直す一年間

とする。会員相互の絆を強めることでクラブ存続を第一目標に、クラブ運営をする。毎週水曜日の例会を月 2 回程度、隔週の水曜日に近況情報報告会（会員相互の情報交換の場）を開き、前期のクラブ運営をする。

今年度は石巻南 R C の創立 20 周年にあたるが、記念事業は中止して、過去 10 年間の記録編集を今年 1 年の事業とする。継続事業の国際奨学金制度に関しては、フィリピン・東ダバオ R C との奨学金制度は相手クラブにすべて移譲すること、タイ・サムサコーン R C との奨学金制度は継続事業として、今年度は検討課題として継続する。

塩釜 R C (宮城県) 前年度幹事・下山 雄司

今回の震災は、あらゆる物がその超越した生と死の淵に直面し、自然の猛威には逆らえず、R C も企業も社会も個人も、自然界に生かされている、ということだと思えます。そのおかげにたつてのみ繁盛と幸せがあるのであって、一度立ち止まり、改めてそれを気づかされたのであり、本当に残った私たちは幸せ者だと思えます。

塩釜 R C も 4 月末まで例会は休会で、分区内の行事も中止。5 月 6 日（金）に震災後、初の例会を開催しました。ロータリアンの前に一人の人間として、自他共に、復興支援活動を今も続行中であり、「蓮華の花」は、泥の中に咲くと仏教でよく言われるが、郷土のガレキを泥と称えるなら、遠くに幸せの光明を見、信じ、がんばるしかなく、私が生まれた時に誕生した塩釜 R C も、11 月 12 日に創立 60 周年記念式典を開催する予定です。今現在、その準備活動に入っています。さらに、「がんばっぺ塩釜」の旗の力も借りて、会員一丸となっている現在の状況です。



七ヶ浜RC（宮城県） 直前会長・遠藤 均

大震災は、七ヶ浜町にも甚大な被害を与えました。菖蒲田海水浴場で有名な菖蒲田浜地区、ヨットハーバーの花淵浜地区、その他吉田浜・代ヶ崎浜・松ヶ浜は壊滅的な被害でした。

七ヶ浜RCの会員は20名ですが、事業所・自宅とも全壊の会員は3名、事業所が全壊2名、自宅が全壊1名、事業所・自宅半壊が1名、事業所半壊2名、自宅半壊2名、その他機械器具・車両などの流失はほぼ全会員といっても過言ではありません。

私は、震災直後は「クラブは解散」の文字が浮かびました。このような会員の被災状況と、例会場である七ヶ浜国際村が被災者の避難所となっている環境では、例会を開く状態ではありませんでした。

幸い全員無事で、20名のうち1人の退会者もなく、会員の「例会を再開しよう！」という思いが6月6日、約3か月ぶりの例会開催につながりました。多賀城市にある山崎澄義会員の事業所での開催でした。復旧・復興はほど遠い状況ですが、クラブを維持し、ロータリー活動を通じて地域に貢献したいと願っています。

（以上、各地区ガバナー月信より転載）

◆ 幹事報告 ◆

① 先日一時帰宅の際、浪江RCの事務所から必要な書類を持ってまいりました。

今年度は例年のような立派なものは出来ませんが、ただいま年次計画書・年次報告書を作成しております。まもなく皆さまへお渡しできるかと思っておりますので、もうしばらくお待ち下さい。

② 次回の浪江ロータリークラブ移動例会についてお知らせいたします。

日時：平成23年10月13日（木）15:00

場所：ホテル華の湯

福島県郡山市熱海町熱海5-8-60

（TEL 024-984-2222）

今回は富岡RC、小高RC、浪江RCの3クラブ合同例会となります。またこの日はガバナー公式訪問となっております。

③ ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付は通常通り受け付けております。送金方法等は事務局へお問合わせください。

